

# 公開研究発表会

■ 日 程 平成28年12月15日(木)  
18時00分～20時00分  
( 開場 17時00分 )

予約不要!  
参加無料!

■ 場 所 都民ホール(都庁 都議会議事堂1階)

■ 人 数 先着250名

次世代エネルギー・大気汚染・水環境・有害化学物質対策などについて、日頃の研究成果を研究員が発表します!

## 特別講演

水素エネルギー再び ～今なぜ水素なのか?～



国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
企画本部 総合企画室 総括主幹

平野 聡 氏

## プログラム

- 18:00～18:05 開会挨拶・・・東京都環境科学研究所 所長 中村 豊
- 18:05～18:40 特別講演 水素エネルギー再び～今なぜ水素なのか?～  
・・・産業技術総合研究所 総括主幹 平野 聡 氏
- 研究発表(4テーマ)
- 18:40～19:00 当研究所における水素・エネルギーマネジメントの研究  
・・・次世代エネルギー研究科長 加納 雅之
- 19:00～19:20 東京都のPM<sub>2.5</sub>の現状と低減対策に向けた研究  
・・・環境資源研究科 副参事研究員 星 純也
- 19:20～19:40 都内河川・海域の水質と浅場・干潟の水生生物の浄化機能  
・・・環境資源研究科 研究員 橋本 旬也
- 19:40～20:00 都内環境における化学物質研究のこれまでとこれから  
・・・環境リスク研究科 主任研究員 西野 貴裕

※上記以外に、当研究所の研究成果等を都民ホール前ロビーにて展示しています。

発表内容の詳細な情報は裏面でご確認ください!

## 問い合わせ

公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所 研究調整課 連携推進係  
TEL: 03-3699-1331 FAX: 03-3699-1345  
E-mail: renkei@tokyokankyo.jp HP: <http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>

# 発表詳細

## 水素エネルギー再び～今なぜ水素なのか？

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 総括主幹 平野 聡 氏

特別講演  
18:05～18:40

1970年代の二度の石油危機を契機として、水素を基幹的な燃料とする社会実現の必要性が検討されてきました。それから約30年を経た現在、水素経済社会が再び脚光を浴びています。

本講演では、我が国のエネルギー需給状況と自然エネルギー、再生可能エネルギーの特徴を概説し、今なぜ再び水素が燃料として注目されているのかを解説します。また、産総研の再生可能エネルギー研究所の活動を紹介しつつ、今後の水素利用のあり方を考えます。

## 当研究所における水素・エネルギーマネジメントの研究

次世代エネルギー研究科長 加納 雅之

研究発表  
18:40～19:00

水素は、利用の段階ではCO<sub>2</sub>を排出しないクリーンなエネルギーです。水素は水を電気分解して作るため、電気を水素の形で蓄電すれば、災害時の非常用電源としても期待できます。この水素を、再生可能エネルギーや未利用エネルギーなどと組み合わせることで、低炭素で快適な、防災性に優れた「まちづくり」の実現に活用するための研究について報告します。

## 東京都のPM<sub>2.5</sub>の現状と低減対策に向けた研究

環境資源研究科 副参事研究員 星 純也

研究発表  
19:00～19:20

大気中のPM<sub>2.5</sub>についての基礎知識や東京都のPM<sub>2.5</sub>の濃度実態について解説するとともに、当研究所で取り組んでいるPM<sub>2.5</sub>低減に向けた調査研究について紹介します。

また、昨年度には当研究所と北京市の研究所で技術交流を行い、研究員が相互訪問して大気汚染対策についての技術情報や研究内容の紹介などを行いました。その交流事業についても報告します。

## 都内河川・海域の水質と浅場・干潟の水生生物の浄化機能

環境資源研究科 研究員 橋本 旬也

研究発表  
19:20～19:40

近年、東京湾に流入する汚濁量は減少していますが、依然として夏季に赤潮が発生するなど、海域の水質改善が必要です。その対策の一つとして、浅場や干潟の新たな創出が考えられます。水質改善に資する基礎データを得るため、都内の浅場・干潟で水質の浄化に役立っているヤマトシジミなどの水生生物について調査を行いましたので、報告します。

## 都内環境における化学物質研究のこれまでとこれから

環境リスク研究科 主任研究員 西野 貴裕

研究発表  
19:40～20:00

当研究所では、これまで有機フッ素化合物など様々な化学物質を対象として、都内環境における実態調査、排出源の解明を進め、必要に応じてリスクの評価まで実施してきました。今回は、その概要をお話しするとともに、今後の化学物質に関する研究の進め方についてお話をしていきます。

# アクセス

- 各線新宿駅  
西口から徒歩約10分
- 都営大江戸線都庁前駅  
A3出口直結

※ご来場にあたっては、公共交通機関をご利用ください。

